

教材・支援機器活用実践事例

【在籍学級の「職場体験活動」参加への

通級指導教室との連携した取り組み】

	実施年度	平成28年度
授業について	教科名等	自立活動
	単元・題材名	「職場体験活動を成功させよう」
	授業における教師のねらい	興味関心を持って学習に取り組みさせる。できた・わかったという実感を持たせることにより、その後の学習に自信を持って取り組みさせる。
	授業における子どもの目標	○「職場体験活動」の事前学習に興味関心を持って取り組むことができる。
子どもについて	学校・学級・学年	中学校 通級による指導 2学年
	対象の障がい	支援が必要な生徒
	授業形態	自閉症等通級指導教室での個別学習（他校より週1回）
学习上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	①情緒の安定 ②自分自身に関するデータの理解 ③基本的な生活習慣の確立（あいさつ・返事・みだしなみ等）
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	A タブレット端末 ・Google ストリートビュー B ワークシート「職場体験を成功させよう」 ・「アルバイト募集」ポスター ・働くことについて知ろう
	  	
		「Google ストリートビュー」 ポスター 働くことについてのワークシート
	活用のねらい	A 「職場体験活動」の事前学習として ・自宅から事業所までの通勤ルートの確認 ・自宅住所・周辺地名の理解 B 「職場体験活動」の事前学習として ・職場でのマナー ・返事や報告の仕方
	授業における支援 ・教材の配慮事項	「職場体験活動」への不安解消と、必要最低限の社会的なマナーやルールについて、分かりやすく指導するようにした。
	子どもの変容や評価	○「ストリートビュー」は自分の住所を知るきっかけになり、通勤ルートを画像を見て具体的にイメージし、確認することができた。 ○あいさつ・返事・報告をワークシートで確認してから実際に声に出して練習できたことで、「職場体験活動」という未知の学習への不安が少し軽減されたようである。練習の成果が出て、本番でも大きな声であいさつをすることができました。体験場所の職員からほめられ、本人もとても満足した様子が見られ、人との関係に、少し自信をもったようでした。

